

木更津駐屯地における米海兵隊オスプレイ定期機体整備2機目の整備終了について

平成30年6月から、陸上自衛隊木更津駐屯地において実施されていた米海兵隊オスプレイ2機目の定期機体整備について、令和2年3月に整備が終了し、同機は普天間飛行場に帰投しました。

同機の整備の経過と、整備にあたっての覚書の遵守状況については、以下のとおりです。

1. 整備の経過

(1) 2機目の整備の経過

2機目は、平成30年6月25日に木更津駐屯地へ飛来し、同年6月26日から定期機体整備が開始されました。

定期機体整備では、1機目と同様に、機体の分解・点検、所要の部品の交換などが行われ、令和2年2月26日からは、格納庫外において飛行前の各種装置等の点検作業が行われました。

また同年3月21日からは、格納庫外において、飛行前の各種装置等の点検のほか、地上滑走、ホバリングチェックが行われ、同年3月24日から26日まで計4回にわたり、東京湾南部上空及び相模湾上空を使用して試験飛行が行われたところです。

令和2年3月27日には、機体が整備企業から米軍へ引き渡され、同機は29日に木更津駐屯地から帰投しました。なお、帰投日が日曜日となりましたが、これは天候や米軍の運用上の必要性によるものと承知しております。防衛省としては、定期機体整備の際の飛来や帰投においても、土曜日、日曜日の飛行を避けるよう、引き続き米軍に要請してまいります。

整備には約1年9ヵ月の期間を要しましたが、これは、所要の部品等の取得に時間を要したほか、昨年9月に発生した台風19号の影響により、整備用器材の一部が破損し、復旧に時間を要したことによるものです。

なお、2機目の整備期間は、1機目の整備の経験を踏まえた手順の改善や、整備企業の錬度の向上等により、1機目に比べ短縮されたものと考えます。

(2) 3機目、4機目整備の経過（現状）

3機目につきましては、平成31年3月28日に飛来し、同年4月1日から定期機体整備が開始され、現在、格納庫内で分解・点検等が行われているところです。

4機目につきましては、令和2年3月19日に飛来し、同年3月27日から整備が開始され、これまでの機体と同様まずは格納庫内で分解・点検が行われます。

2. 覚書の遵守状況

米海兵隊オスプレイの定期機体整備につきましては、平成29年1月19日付で、防衛省、米軍及び富士重工業株式会社（当時）との間で覚書が取り交わされているところ、2機目の整備にあたっては覚書に記載された内容が遵守されたことを確認しています。

3機目以降の整備についても、覚書の遵守を米軍及び整備企業に引き続き働きかけるとともに、遵守状況の確認を継続し、地元住民の皆様十分に配慮した形で定期機体整備が行われるよう防衛省としても万全を期してまいります。

3. まとめ

木更津における日米共通整備基盤は、日米安保体制の円滑かつ効率的な運用、日米オスプレイの整備の効率化等の観点から極めて高い意義を有する事業であるとともに、技術力の高い我が国の企業が整備を担当することは、我が国の上空を飛来するオスプレイの安全性の一層の向上に資するものと考えているところ、今後とも地元の皆様のご理解を賜りますよう深くお願い申し上げますとともに、引き続き防衛省としても適切な情報提供を行い、地元自治体の皆様と丁寧に調整をさせていただきます。

(参考)

< 2機目の整備に係る経緯 >

平成30年6月25日 木更津駐屯地への飛来
平成30年6月26日 定期機体整備開始
令和 2年2月26日 地上試験開始
令和 2年3月24日 試験飛行（1回目）実施
令和 2年3月25日 試験飛行（2回目、3回目）実施
令和 2年3月26日 試験飛行（4回目）実施
令和 2年3月27日 定期機体整備終了
令和 2年3月29日 木更津駐屯地から帰投